

# 輝け田底っ子

第40号

文責：校長 益永 一幸

## 「ありがとうございました」授業参観・PTA 全体研修会・学級懇談会

25日（金）の午後は本校にお越しいただきありがとうございました。授業参観は「性に関する指導」の授業を各学年行いました。性に関する指導の目標は「自分の性を受容し、自分を大切にすること。」「男女の体の特徴や心身の発達には個人差があるが、互いに相手を尊重し思いやる心と態度が大切であること」です。自尊感情（セルフエスティーム）や人間関係を築く能力（コミュニケーション）、生命を尊重する態度などを育成し、人としての生き方、家庭や社会の一員としてのあり方を考える幅広い内容となっています。これを各学年の実態に応じて学習したところです。

PTA 全体研修会では、スマホやタブレットの情報モラルに関する正しい考え方や家庭でのルール作りの大切さについて学ぶことができました。大変有意義な研修会でした。

学級懇談会では家庭教育の悩みなどの情報共有もできた学年もあったようです。本当にお世話になりました。今後も、このような機会を生かして、様々な質問やご意見等をうかがえるとありがたいです。

### 午前5時監事授業日課の試行について

【期間：12月6日（火）～16日（金）】	5時間授業の場合
	13:55～14:15 帰りの会、下校
【日課】	6時間授業の場合
8:10～ 8:20 健康観察、朝の会	14:00～14:45 6校時
8:20～12:30 5時間授業	14:45～15:05 帰りの会、下校
12:30～13:05 給食	総合運動部
13:05～13:55 昼休み・掃除	15:10～16:10 活動、下校

## 子どもたちの健やかな成長に向けてシリーズ ①【働き方改革】

今、学校現場に求められている「働き方改革」ですが、なぜ教師の働き方改革なのでしょうか。

それは、教師が子どもとしっかり向き合い、教師本来の業務に専門性を発揮できることにあります。新しい学習指導要領において、教師は「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善、教材研究等が求められており、そのための時間を確保するよう、国や市の教育委員会の方針等に基づき、学校の実態に応じて進めているところです。

つまり、これまでの教師の働き方を見直すことは、教師が毎日元気に子どもたちの前に立って、未来につながる力を育む教育を行うために必要なことです。学校行事の内容の見直し、教師の勤務時間を意識した諸対応、また今回試行します午前5時間授業日課も働き方改革の一つです。ご理解とご協力をお願いいたします。